



# 学校だより

2026年度5月号  
藤沢市立大越小学校  
校長 丸谷 英之

教育目標 心豊かで思いやりがあり、たくましく生きる児童の育成  
「やさしく かしこく たくましく」

## 対面式にて1年生をみんなで見送りました！！509名の船出です！

若葉が輝く季節となりました。新年度が始まって1か月、日々の学びや友だちとの関わりを通して、小さな「できたっ！」を積み重ねながら、自信を育てている姿が多く見られます。

4月16日には、新入生と在校生全員が初めて顔を合わせる歓迎行事である「対面式」を行いました。1年生は、6年生にやさしく誘導され、みんなの前に並んで元気よく挨拶をしました。



## ◇ 安心のスタートをみんなで見送る ～大越小版スタートカリキュラム試行～

入学してきた子どもたちが安心して学校生活をスタートし、生活面・学習面の両面で円滑に適應できるようにすることを目的とし、大越小版「スタートカリキュラム」を試行しました。入学直後の不安や戸惑いに丁寧に寄り添う必要があると考え、試行に至りました。

### 絵本やお話を楽しく聞く1年生



今年度は、これまで1年生の担任が大切に積み重ねてきた実践も含めつつ、「スタートカリキュラム」という視点で内容を整理しながら模索したものです。担任を中心とした取組は1週間から10日間程度を見

通して行い、そのうち外部の方々のご協力による取組は5日間実施しました。

その一つに、地域の絵本読み聞かせ団体の皆様にご協力いただき、毎朝30分間の読み聞かせを行いました。落ち着いた雰囲気の中で一日を始めることができ、子どもたちは自然に学びへと向かう姿が見られました。

また、帰りの支度の準備補助や下校時の見守りについては、前年度、学校運営協議会（コムスク）に相談しながら人員を募り、地域ボランティアの皆様のご支援により実現しました。帰りの支度に戸惑う子どもへの声かけや、トイレの使い方の確認、下駄箱での履き替えの補助など、今後一人でできるようになることを見据えながら、きめ細やかな支援が行われました。さらに、下校時には各所に立っていただき、道路横断時の安全確認など、子どもたちの安心・安全のために見守っていただきました。

6年生による支援も大きな力となりました。朝の教室では、ランドセルから学習用具を取り出してお道具箱に入れる手伝いをしたり、困っている1年生に優しく声をかけたりしていました。また、休み時間には一緒に遊び、給食の準備や片付けも進んでサポートするなど、頼もしい姿が随所に見られました。1年生にとって大きな安心につながるとともに、6年生の成長も感じられる場面となりました。まさに「6年生、すごい！」と感じる取組でした。



1年生にやさしく給食準備を教える6年生

これらの取組を通して、子どもたちはゆったりとした気持ちで学校生活を始めることができ、生活や学習への適応がよりスムーズになる様子が見られました。本試行により、改めて異学年による関わりの大切さ、地域とともに子どもを育てることの大切さを実感しております。ご協力いただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。

今年度の様子を踏まえ、次年度のよりよい取組へとつなげてまいります。

■5年社会：世界の国旗



■全校避難訓練（地震）



■おっこし生活：上履き洗い



■3年国語：友だちインタビュー



■2年音楽：合唱



■4年図工：木々を見つめて

